

銀クラスター触媒による環境調和型有機合成

清水研一准教授(北海道大学触媒化学研究センター)



2010年10月27日(水) 16:30~18:00

北海道大学創成科学研究棟4階セミナー室BC

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>

従来, redox型の有機合成触媒分野は白金族錯体の独壇場であったが, 実用性向上には安価な非白金族を原料とした分離・再利用の容易な固体触媒の開発が強く望まれる. 講演者らは, 安価な非白金族金属である銀をサブnm~数nmに微粒子化しアルミナ担体上に分散担持させた触媒が, 種々のGreen有機合成において高い性能を示すことを見いだした. 分子レベルの触媒表面構造, 反応機構に関する基礎研究を通じて高活性化のための触媒設計指針を提案する.

連絡先:触媒化学研究センター・上田渉(011-706-9164/ueda@cat.hokudai.ac.jp)

清水研一准教授は1971年静岡県大井川町生まれ. 名古屋大学工学部応用科学科卒業. 2000年同大学院博士課程修了(服部研), 工学博士. 2000年新潟大学(北山研)助手, 2004年名古屋大学(薩摩研)助教を経て, 2010年10月, 北海道大学触媒化学研究センター准教授. 触媒化学を中心に, 金属クラスター触媒による環境調和型有機合成, 自動車排ガス浄化を研究.

